

／ まるわかり ／

トラック運送事業者の

今できる

# SDGs





# 発刊にあたり

トラック運送業界は、「安全で安心な輸送サービスを提供し続けること」が社会的使命であり、常に「安全」を最優先課題とし、環境対策や労働対策などとともに、産業の将来に向けたさまざまな取組みを進めています。

こうした姿勢は、2015年の国連総会で採択された決議にある、SDGs（持続可能な開発目標）の「誰一人取り残さない」理念と通じる部分があります。

本書は、言葉としては浸透しつつあるSDGsのさらなる理解促進とあわせ、トラック運送業界における事業活動との紐付けにより、SDGsについても経営実践の中に取り込んでいくための指針としてご活用いただき、有意義な取組みに繋がることとなれば幸甚に存じます。

2022年6月

公益社団法人全日本トラック協会

## 目次

### 発刊にあたり／目次

	はじめに	トラック運送事業者がSDGsに取組むメリット	1
1	SDGsを知ろう!	SDGsが生まれた背景	2
		SDGsの17のゴールと169のターゲット	3
2	SDGsを調べよう!	トラック運送業界とSDGsとの関わり	4 - 5
		トラック運送事業者のSDGsへの取組みチェックリスト	6 - 7
		トラック運送事業者のSDGsへの取組み事例	8 - 9
3	SDGsに取組もう!	サステナブルでレジリエントな社会の実現/「持続可能」って?	10
		SDGsが企業に求めていること	11
		「選ばれる」運送事業者になるためのSDGsへの取組み全体像	12
		6つのStepで出来るSDGsへの取組み	13 - 15
4	SDGsを成長につなげよう!		16

はじめに

## トラック運送事業者がSDGsに取り組むメリット

### ① 人財採用や定着につながる!

SDGsへの取り組みをアピールすることで、多くの人に「この会社は信頼できる」「この会社で働いてみたい」という印象を与え企業イメージが向上します。SDGsは既に小中高校の「学習指導要領」の内容になっており、特に若者の採用・定着に効果が高いです!



### ② 事故防止にも効果があり、信頼獲得につながる!

SDGsには、社会が抱える様々な課題が含まれています。例えば、具体的目標として「道路交通事故の死傷者を半減させる」というものもあり、トラック運送業界としての社会的使命を果たし、**荷主企業や地域社会からの信頼を獲得すること**にもつながります!



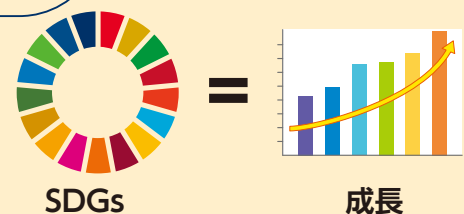
### ③ 荷主企業との一層の関係構築が可能!

荷主企業のニーズも時代と共に変化しています。今後は、SDGsへの取り組みが荷主企業との取引条件になる可能性もあります。**いち早くSDGsに組み込み、他社との差別化を図ることで**、より強固な関係構築が可能となります!



### ④ 新たなビジネスチャンスが広がる!

SDGsへの取り組みをきっかけに、地域との連携、新しい荷主企業の開拓、**新たな事業パートナーの獲得などビジネスチャンスが広がります**。売上・利益の拡大につながり、地域社会から「なくてはならない」存在となり、持続的な成長が期待できます!



次ページから、SDGsについて具体的に説明していきますね!



メリットが多く、楽しみだ! 宜しくお願いします!





# SDGsを知ろう!

## SDGsが生まれた背景

現在、気候変動、資源の枯渇、感染症、貧困等、これまでになかったような数多くの課題に人類は直面しています。



環境

Environment



社会

Social



統治

Governance

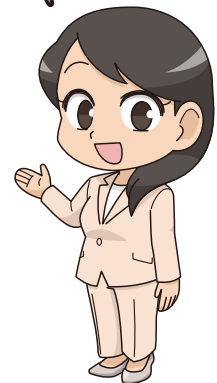


問題が山積…

解決  
するために

世界共通のルールが生まれ、政府や荷主企業もSDGsへの取組みを進めています。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs: 「持続的な開発目標(Sustainable Development Goals)」の略で、持続可能でよりよい社会実現を目指す世界共通の目標です。2015年9月、国連で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」で設定された17のゴールと169のターゲットから構成されています。2030年までに、あらゆる貧困に終止符を打ち、不平等と闘い、気候変動に対処し、「誰も置き去りにしない」ための取組みを掲げています。

# SDGsの17のゴールと169のターゲット

SDGsの17のゴール(目標)は、2030年のあるべき姿を表しています。



1 貧困をなくそう



2 飢餓をゼロに



3 すべての人に健康と福祉を



4 質の高い教育をみんなに



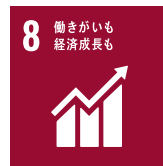
5 ジェンダー平等を実現しよう



6 安全な水とトイレを世界中に



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



8 働きがいも経済成長も



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



10 人や国の不平等をなくそう



11 住み続けられるまちづくりを



12 つくる責任つかう責任



13 気候変動に具体的な対策を



14 海の豊かさを守ろう



15 陸の豊かさも守ろう



16 平和と公正をすべての人に



17 パートナーシップで目標を達成しよう

環境や働き方など身近な目標がある一方、イメージが湧かないものもあるな…



169のターゲットを見ると、イメージしやすくなりますよ!

例えば、ゴール3のターゲット6をご参照ください。「世界の道路交通事故による死傷者数を半減させる」というような具体的な目標が設定されています。



169のターゲットの詳細については外務省の公式HPを参照ください。

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/000101402.pdf>

※上記URL及びQRコードは、2022年4月現在のものです。



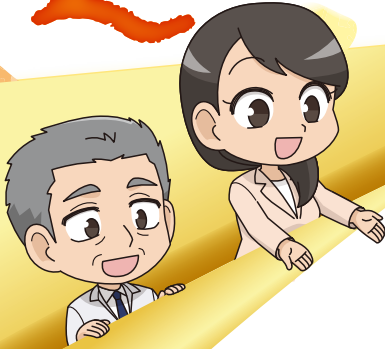
17のゴール 2030年のあるべき姿

169のターゲット 2030年までに達成すべき具体的な目標

なるほど!  
日頃取り組んでいる安全・事故防止の対策もSDGsの目標につながっているんだね。



# 2 SDGsを調べよう!



トラック運送業界の身近な課題への改善対策はSDGsにつながっています!!

## 環境

- エコドライブの推進
  - アイドリング・ストップの推進
  - CO<sub>2</sub>排出量の把握
  - 環境性能に優れた次世代トラックの導入
  - EMS (エコドライブ管理システム) 関連機器の導入
- 等



## 安全

- 事故防止
  - 飲酒運転根絶
  - 健康起因事故の防止
  - あおり運転防止
  - 整備点検の徹底
- 等



## 生活

- 国民生活を支える物流の9割を支えるトラック運送業界
  - 災害時の緊急支援物資輸送による被災者の避難生活の支援
- 等



# トラック運送業界とSDGsとの関わり

※本見開きページのSDGsゴールアイコンは例示であり、他のゴールに紐づくこともあります。

## 雇用

- 働き方改革
- 待遇の改善
- 健康経営
- 資格・免許取得によるキャリアアップ
- 女性(トラガール)・高齢者の活躍



等

## その他

- 適正な運賃・料金の収受(標準的な運賃、燃料サーチャージ)
- 輸送効率化の推進(共同輸送・中継輸送)
- モーダルシフト
- ペーパーレス化
- DXへの対応
- パレット化
- 荷主等とのパートナーシップ

等



## SDGsに関するよくある質問

### Q & A



**Q** 何かに合格したり条件を満たさないと、SDGsロゴ等はい使えないの?

**A** 自社のSDGs活動の広報やSDGsをサポートする「情報提供目的」の文書では、申請・許可不要で使えます。「資金調達目的」と「商業用途」では使えません。

**Q** ならば、SDGsホイールバッジを付けることも自由?

**A** 自由です。バッジを付けることでSDGsに取り組んでいることをアピールすることが可能です。自社のSDGsへの取組みを理解・実践しましょう。

**Q** SDGsに取り組んでいることを発信したい!

**A** 自社ホームページ等でアピールする他、最近ではSDGsへの取組みを社外発信し、SNSのように共有できる「SDGsプラットフォーム」が立ち上がっています。また、自治体が運営する「SDGs登録制度」等に参加し、取組むことも有益です。

# トラック運送事業者のSDGsへの取り組みチェックリスト



トラック運送事業者とSDGsは密接に関連しています。  
自社のSDGsへの取り組みを、チェックリストを使って見える化してみましょう！  
……実はすでに取り組んでいるんですよ！



- 災害時などの緊急物資輸送
- 生活水準の格差をなくすため、多様な人材の積極的な採用



- 冷蔵・冷凍輸送技術の高度化による食品ロスの防止
- 自然災害などの緊急時における被災地への食品の輸送



- 安全運転の徹底による交通事故の撲滅
- 健康経営への取り組み等、イキイキと働ける職場環境の整備
- 事務職のテレワーク・交代勤務等、感染症対策への取り組み



- 社員の資格・免許取得に対する支援
- 将来の担い手となる児童・学生に向けた講習や見学会の実施



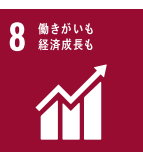
- 性別に関わらず活躍できる職場環境の整備
- 男性も含めた育児・介護休暇制度の充実



- 飲み水の備蓄や簡易トイレの完備、緊急時の地域住民への提供
- 洗車時の徹底した節水



- タイヤの空気圧など整備点検の徹底によるCO2削減
- EVトラックなど環境性能に優れた次世代トラックの導入
- 保有車両の大型化・トレーラー化



- 長時間労働の削減等、働き方改革への対応
- 「標準的な運賃」、燃料サーチャージ、待機時間料、附帯作業料などの適正收受
- 求荷求車情報システムの活用



- 中継輸送・共同輸送の推進
- 物流規格の標準化
- パレット化、機械化による手荷役の解消



## 特徴的なゴール 17「パートナーシップで目標を達成しよう」

SDGsのゴール1～16は壮大で、一国・一個人・一地域・一企業の努力だけで解決するものではありません。2030年までに目標を達成するためには、世界中の国・国民・地域・企業などあらゆる人たちが全員の力を集めて取り組む必要があります。

トラック運送業界を取り巻く課題も、国や自治体、荷主、従業員等々と連携して解決することが大事です。



- 従業員に対するコンプライアンス研修機会の提供
- 性、人種、障がい、宗教などに基づく差別のない採用
- お中元・お歳暮など、フェアトレード商品の優先的な選定



- 事業継続計画 (BCP) の策定による、強靱性と持続可能性の確保
- トラックステーション等、適切な施設・場所を利用したの仮眠・休憩



- 指示書など紙媒体のデジタル化 (ペーパーレス)
- CO<sub>2</sub>排出量の算出・把握
- 廃タイヤ等のリサイクル、再生タイヤ・再生パレット等の導入



- アイドリング・ストップの実施
- 脱炭素社会を目指した「カーボンニュートラル」の取り組み
- EMS(エコドライブ管理システム) 関連機器の導入と運行管理



- 事業所ゴミ・プラスチックゴミの削減
- MSC認証、ASC認証の商品の積極的な購入
- MSC認証…水産資源と環境に配慮した、持続可能な漁業で獲られた天然の水産物に対する国際認証制度。
- ASC認証…養殖に関する国際認証制度。環境汚染や、資源の過剰利用防止、労働者などに配慮した水産物を認証。



- ゴミのポイ捨て禁止活動・清掃活動の実施
- 植樹・植林の実施、社有林の活用



- あおり運転をしない/させない取り組み
- マイノリティとされる人々が安心して働ける職場の提供



- ホワイト物流推進運動
- パートナーシップ構築による荷主等との連携強化
- トラック協会の助成制度等の活用

SDGsは難しいものだと  
思っていたけれど、具体的に見ると  
すでに取り組んでいるものが多いな！



# トラック運送事業者の

## 株式会社 長野トランスポート(福岡県朝倉市)

### 企業概要

福岡県朝倉市に本社を構え、大分県、熊本県、宮崎県、鹿児島県にも営業所を置き、九州を中心に様々な一般貨物や建設資材などの輸送を行っている。

代表取締役：長野 臣巳  
 設立：1985年3月20日  
 資本金：1,000万円  
 社員数：85人(うちドライバー 65人)  
 車両数：86台

### 取組む理由

「安全性の高いトラック運送業界のことを、一般の方々にもっと多く、もっと深く知ってもらい、自社の取組みを正當に評価頂いた上で、社会をより良くしたい」



長野社長(右)と  
長野常務

## 具体的な取組み

### 主な目標・成果

#### 女性が活躍できる職場へ

- 荷主企業と連携し、女性に適した自主荷役のない配送業務の確保
- 男性従業員に対し、女性従業員との適切な接し方等を指導
- ハラスメント相談窓口設置。女性専用トイレを6営業所すべてに設置
- 産休・育休制度の導入、女性管理職の積極登用などキャリアパスを明確化



合計16人(うちドライバー5人)の女性従業員が在籍。勤続年数の長い女性従業員も多い。

#### 労働環境改善で健康起因事故を根絶

- 荷主や協力企業と連携し、労働・残業時間の是正
- 衛生管理者が全従業員の健診結果を一括管理し、健康診断受診率・再検査受診率は共に100%
- 健康に関する社内研修の実施と健康に関する情報の提示
- 自社でトレーニングジムを保有、全営業所に水素水生成器を設置



本社近くに設置している  
トレーニングジム



安全・安心な輸送を実現するため、健康起因事故ゼロを目指す。

#### 災害流木を活用して「循環型社会」を目指す

- 産業廃棄物収集業者や森林組合などと連携し、災害流木を受入れ
- 受入れた災害流木の加工(皮剥ぎ・洗浄)を行い、おがくずを製造し、食品事業者や畜産関係で使用される敷床用に供給



おがくずを自社製造

焼却処理をしていた災害流木を資源として再生し地域で活用。

#### 法令遵守のために荷主と連携

- 標準的な運賃表を用い、運賃の適正化を図る
- 荷主企業と連携し、運行経路の再設定、待機時間の削減を推進
- 「働きやすい職場認証」最上位である「三ツ星」取得に向けた社内改革
- 業務の標準化を図り、有給休暇の取りやすい職場環境を整備
- 全車にデジタコ・ドラレコを搭載。毎月安全会議を開催し、事故防止を推進



班会議の開催等を通じて、安全性の更なる向上を図る



安全・安心な輸送を進められるよう環境を整備し、魅力的な物流企業を実現する。

## SDGsに期待すること

- 「日々の業務がSDGsに繋がっていく」と気付くことで従業員の質の向上に期待ができる
- 「先進的な取組みをしている運送事業者」と認識されることで、新たな取引拡大が期待できる
- 我が国の経済活動を支えるトラック輸送を守り抜くために、SDGsへの取組みは欠くことはできない

# SDGsへの取り組み事例

## 株式会社 山本清掃 (京都府京都市)

### 企業概要

廃棄物回収・処理を中心に事業を展開。店舗やオフィス、商業施設などから排出される事業ごみをパッカー車等で回収し、本社敷地内の工場で中間処理を実施。最終処分される廃棄物やリサイクルされる資源をウイング車やコンテナ車、パワーゲート車等で輸送している。

代表取締役社長：山本 敏裕  
 創業：1949年4月  
 設立：1992年2月  
 資本金：5,000万円  
 社員数：84人 (うちドライバー 42人)  
 車両数：38台

### 取り組む理由

「生活を支える社会的インフラとして事業の意義を、もっと多くの人に広めていきたい」



最終処分される廃棄物やリサイクルされる資源を輸送する、同社のGマークラッピングトラック

### 具体的な取り組み

### 主な目標・成果

#### 環境保全への取り組み



- 従業員に自然環境の保全を身近なものとして考えてもらうため、「みつばちプロジェクト」を2016年から開始。都市養蜂により採取した蜂蜜の化学分析を行い、食品衛生上問題がないこと等を確認
- 小学校などの教育機関で「出前環境学習」を行い、環境・リサイクルに関する授業やデモンストレーションを実施
- 古着リユース・リサイクル工場「京丹波ウエス」を開設し、古着・古布を焼却せず、分別してウエスとして再利用することで、資源保全とCO<sub>2</sub>削減を推進



京都駅近くで都市養蜂をおこなう「みつばちプロジェクト」

1997年にCOP3が開催され、2021年に「SDGs未来都市」となった京都市を拠点とする企業として、欠くことのできない社会的インフラとしての重要性を社内外へ訴求。

#### 社会への責任



- 体力的に負担の少ない中間処理工場で廃棄物の選別や梱包作業を、高齢従業員の多くが担当
- 障がいを持っている従業員が安全に扱うことのできる古着の選別作業に従事。給与水準は一般雇用枠の従業員と同水準とし、欠くことのできない戦力として処遇
- JICA (国際協力機構) と連携し、海外から視察団を積極的に受入れ



中間処理工場での廃棄物の選別や梱包の作業にあたる高齢者や障がい者

高齢者や障がい者が安心して安全に働くことができる職場の実現。障がいを抱える従業員が12人在籍し、「京都府障害者雇用推進企業 (京都はあとふる企業)」に認定。

#### ガバナンスの取り組み



- 日本SME格付け(\*)を取得し、財務状況の見える化を図る
  - 透明性の高い絶対評価による人事制度の導入
  - プライバシーマークを取得し、個人情報の適切な保護・管理体制の整備・社内教育の充実を図る。また、Gマークを取得し、事故防止取り組みを推進
  - 防災・減災への対策について計画を立案し、中小企業庁「事業継続力強化計画」の認定を取得
- \*日本SME格付けは、日本国内の未上場の中堅・中小企業を対象とした信用格付けです。

取引先に対し経営の安全性を証明し、従業員に対し納得度の高い人事評価制度等を導入することで、持続可能な経営環境の実現を目指す。

### SDGsに期待すること

- 取り組みの積極的な情報発信を通じ、私たちの存在をもっと知ってもらいたい
- 安心して、末永く取引を頂けるビジネスパートナーの発掘が期待できる
- 従業員がSDGsへの理解を深め、取り組みを能動的に進めることが大切



山本社長がSDGsへの取り組みについて紹介する動画を作成

# 3 SDGsに取り組もう!

サステナブルでレジリエントな社会の実現

SDGsを"道しるべ"に 21世紀型のビジネスを実践

point 1

**持続可能な社会を実現する  
ビジネスモデルを考える**

自社を取り巻く環境問題や社会課題を自分事ととらえ、本業でこれらを解決できないか考えてみましょう。

実施手段



point 2

**将来ビジョンを明確にする**

持続可能な社会において、自社の未来のあるべき姿、「存在意義」は何なのか、どのような活躍をしたいのか、理想像を描きましょう。

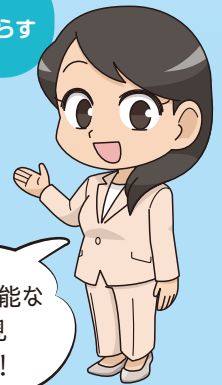
多様な人材  
再生可能な資源

「環境」「社会」は  
ビジネスに  
必要な「資本」と  
とらえよう。



社会に  
新たな価値をもたらす

企業も持続可能な  
成長を実現  
できますね!



point 3

**将来ビジョンに向かう  
道筋を考える**

現在の自社の資本(資金力、知的財産・ノウハウ、社員の力量・社内体制、設備等)だけでは理想に到達できない場合、どのようなパートナーと連携していくべきかを検討しましょう。

※レジリエント……「強靱な」「柔軟な」

## 「持続可能」って?

将来の世代のニーズを満たす能力を損なうことなく、現在の世代のニーズを満たすような開発をいいます。

流しそうめんを例えると…

みんなが流しそうめんを食べられるような仕組みをつくるのが、「持続可能な社会」につながります。



出典：環境省「こども環境白書」(2019年2月発行)を参考に三井住友海上火災保険(株)が作成

## SDGsが企業に求めていること



環境・社会に貢献するというと、  
「マイボトルを持ち歩きムダなゴミを出さないようにする」、  
「寄付やボランティアの活動に力を入れる」などの行動をアピールしても、  
当社の事業にどれだけプラスの影響があるのか不安でね……

仰るような行動も素晴らしい取組みですが、  
SDGsが企業に求めていることは、

**「社会課題を本業で解決する」**ことです！

御社の本業の中で、環境・社会・組織統治に関する問題を解決  
できないか(していないか)考えてみるとイイですよ！



本業に近いところにある社会課題を、  
**本業の中で解決できないか考えてみましょう！**

### ①取組むべき課題の発見



エコドライブで  
環境問題に貢献する！

まずは、SDGs視点で  
業務を捉える(経営に取り込む)

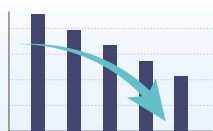
### ②その取組みの社会的/経営的必要性

CO<sub>2</sub>削減  
(社会的必要性)

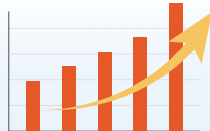
燃費向上  
(経営的必要性)

2つの必要性が両立しているか？

### ③取組みの効果測定



CO<sub>2</sub>削減



燃費向上

取組んだだけでなく評価もしましょう！

### ④次の課題の抽出

次は社員の  
健康増進だ！

更なる発展・  
成長につなげる！



本業と遠いSDGsへの取組みは、以下のようなリスクになりえます

経営資源の浪費になる可能性がある



また社長が  
仕事と関係ないこと  
始めたわ……

あの会社は  
□先ばっかりだな……



本業と遠いと取組みが継続せず、  
取引先などからの評価を得られないことも

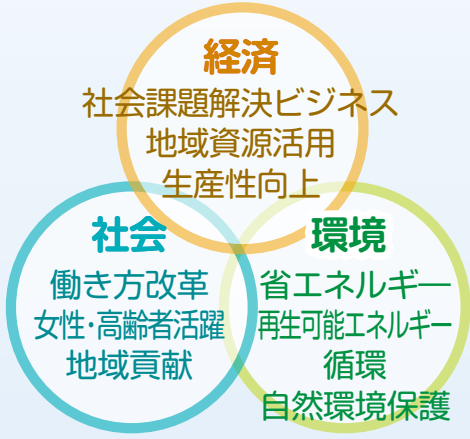
# 「選ばれる」運送事業者になるためのSDGsへの取組み全体像

「将来ビジョンの提示」「体制整備」の両輪を回し取組みましょう

## 将来ビジョンの提示

SDGsを道しるべとした「自社の将来ビジョン」を示す

- 1 自社のあるべき将来像を描く  
=経済・社会・環境の三側面で価値向上に貢献するビジネスモデルを考える  
● 「三方良し」のビジネスモデル (下図参照)



- 2 自社の将来像を実現するための道筋を考える
- 3 将来像を実現するにあたってのハードル (自社に無い知見・ノウハウ) を社外のネットワークで探索する  
● パートナーシップの構築

## 今やるべき! 体制整備

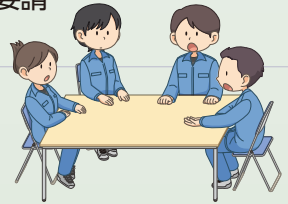
社会に評価されるために最低限必要なリスクマネジメント

- 1 組織内での人権配慮
  - 性別、年齢、人種、出身などによる差別の撲滅
  - ハラスメント等、労務トラブルの撲滅
  - 長時間労働の是正
  - 同一労働同一賃金
  - 働き方の多様化 (時短勤務等)
  - 多様な人財の活躍 (女性、高齢者、外国人、障がい者、介護・育児・治療などさまざまな事情がある方)
  - 情報管理 (人事・顧客情報等)

- 2 環境への配慮
  - エコドライブ
  - ペーパーレス
  - 荷主企業からの脱炭素要請



- 3 組織体制の整備
  - 法令遵守
  - 事業継続



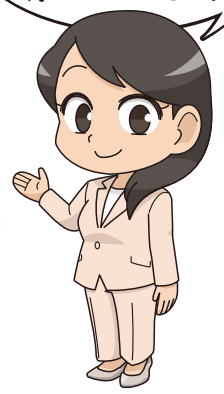
← P.1も参考にしてください

## SDGsへの取組みによって、 運送事業者が得られるもの

人財採用定着      社会・荷主企業からの支持

過度な価格競争からの脱却      新規取引先の獲得

次のページから解説する6つのステップでSDGsに取組めば多くのメリットを得ることができます!



## 6つのStepで出来るSDGsへの取組み

## step1 SDGsを理解しましょう

社内勉強会等を通じて、経営者はもちろん、  
役職員全員がSDGsが求めているものを同じ目線で理解しましょう。

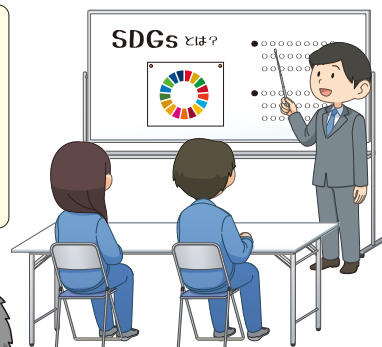
## 取組み例

SDGsに関する本(簡単なもので可)を役職員で読み合わせをする。



## 取組み例

SDGsに関する社内勉強会を実施する。  
社外講師を依頼することも検討すると良いです。



SDGsに取組み始めると、取引先などから「御社はどんなSDGsへの取組みをしているの？」と聞かれることがあります。役職員の目線を合わせて、自信をもって答えましょう！

社内全体にSDGsへの理解が行き渡れば、担当者が変わっても取組みを継続できるね！

← P.2 ~ 3も参考にしてください

## step2 SDGsを皆で考える社内風土、体制を作りましょう

社長のトップダウンのみではなく、**社員全員から**  
**自社が取組むべきSDGsについて意見やアイデアが出てくる**社内風土や  
社内横断のプロジェクトチームを作りましょう。

## 取組み例

社内SDGs ワークショップ

ボトムアップで考えることでSDGsへの取組みについて社員に責任感が生まれるね！

まずは、自社の仕事をSDGsの17のゴールに紐づけてみよう！

## 紐付けマッピングの例

	自社の事業	関連するSDGsゴール
環境	エコドライブ	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 13 気候変動に具体的な対策を
社会	交通ルール違反ゼロ	12 つくる責任 つかう責任 16 平和と公正をすべての人に
組織統治	長時間労働の削減	3 すべての人に健康と福祉を 8 働きがいも経済成長も

← P.4 ~ 7も参考にしてください

### step3 優先課題を特定しましょう

本業と社会への影響をSDGsの観点で整理して、課題を洗い出し、**優先すべき取組み**を特定しましょう。

#### 本業に近い社会課題を検討する例

社会・荷主の関心

非常に強い

強い

- 地方創生
- 健康寿命の増進
- 災害リスクの低減
- 再エネの活用

- 交通事故のない社会
- 働き方改革
- CO<sub>2</sub>の削減

- LGBT
- 地域社会への貢献
- ワークライフバランス

- ハラスメントの撲滅
- 事業継続計画
- 疾病予防
- あいさつの徹底

強い

非常に強い

当社の本業への影響度

最優先

あれもこれもは実践できないので、本業に近い課題の優先順位を付けることが大事です！

現在の取組みを発展させることを考えてみるかな！

### step4 目標を設定しましょう




社会に対して新たな価値を創造できるような2030年に達成すべき目標(あるべき姿)を設定し、長期→中期→短期の目標を立てましょう(逆算的に中間目標を立てる)。

最初に「あるべき姿」を決める

Step3の最優先事項をもとに、2030年の目標を具体的に描きましょう！

現在ではなく、2030年に達成すべき目標を基点にすることがポイントです！

#### 目標設定

テーマ	最優先事項	2030年に達成すべき目標	中間目標		
			①を達成するために	②を達成するために	③を達成するために
環境	CO <sub>2</sub> 削減	①CO <sub>2</sub> 削減30% 	②CO <sub>2</sub> 削減15%	③EVトラック導入	④CO <sub>2</sub> 排出量把握
社会	交通事故のない社会	①事故ゼロ達成 	②ドライバーコンテスト入賞	③小学校への出前教育開始	④安全教育体制再構築
組織統治	働き方改革	①労働生産性10%向上 	②各営業所で女性ドライバー定着	③改善基準告示違反ゼロ	④働きやすい職場認証取得

具体的な目標を立てることで、効果の検証や進捗管理もできるね！

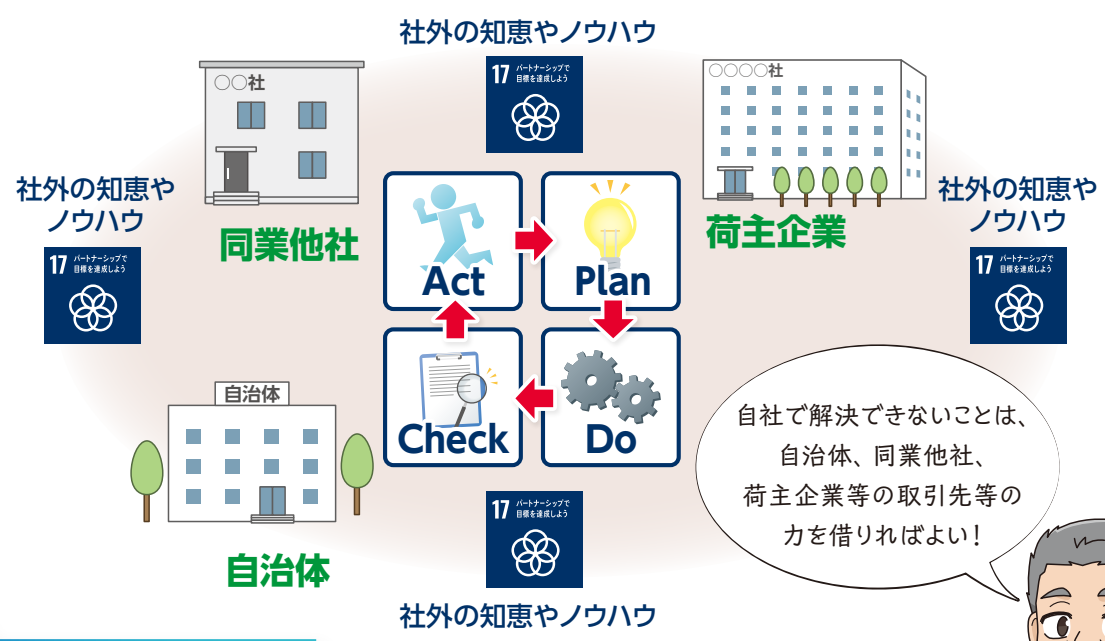
次に逆算的に中間目標を決める

将来から現在に向かって中間目標を立てる



**step5 実践しましょう**

掲げた目標に到達するために道筋を考え、実践しましょう。  
 自社で解決できないような課題があれば、積極的に社外と連携し  
 外部の知恵やノウハウを活用しましょう。



← P.7も参考にしてください

**step6 取組内容を開示しましょう**

取組内容を社外に積極的にアピールし、  
 自社の理念に共感する顧客、支援者を増やしましょう。

**取組み例**  
 自社ホームページやSDGsプラットフォーム等で公表

**取組み例**  
 地方自治体等のSDGs登録制度

取組みごとに目標を定め、進捗を公表するとさらに効果的です。

最近では、ネット上でSDGsへの取組みを自由に発信し、SNSのように交流のできるプラットフォームも立ち上がっています。これらを活用することで、自社の発展と社会課題の解決を効果的に進めることも可能です。

自社のSDGsへの取組みを公表することで、荷主企業や地域社会との関係強化・構築や若手ドライバーの確保などが期待できるね！

← P.1も参考にしてください

# 4 SDGsを成長につなげよう!

SDGsの目標(ゴール)を達成するためには、国や自治体などが取組むだけでは不十分で、**規模や業種に関わらない企業の取組み、個人や団体の取組みが期待されています。**

## SDGsの認知度向上に伴い、 **SDGsへの取組みが進んでいます!**



SDGsの観点で、  
現在の事業を **変革** することが社会や取引先からの更なる評価となり、

## **御社の成長につながります!**

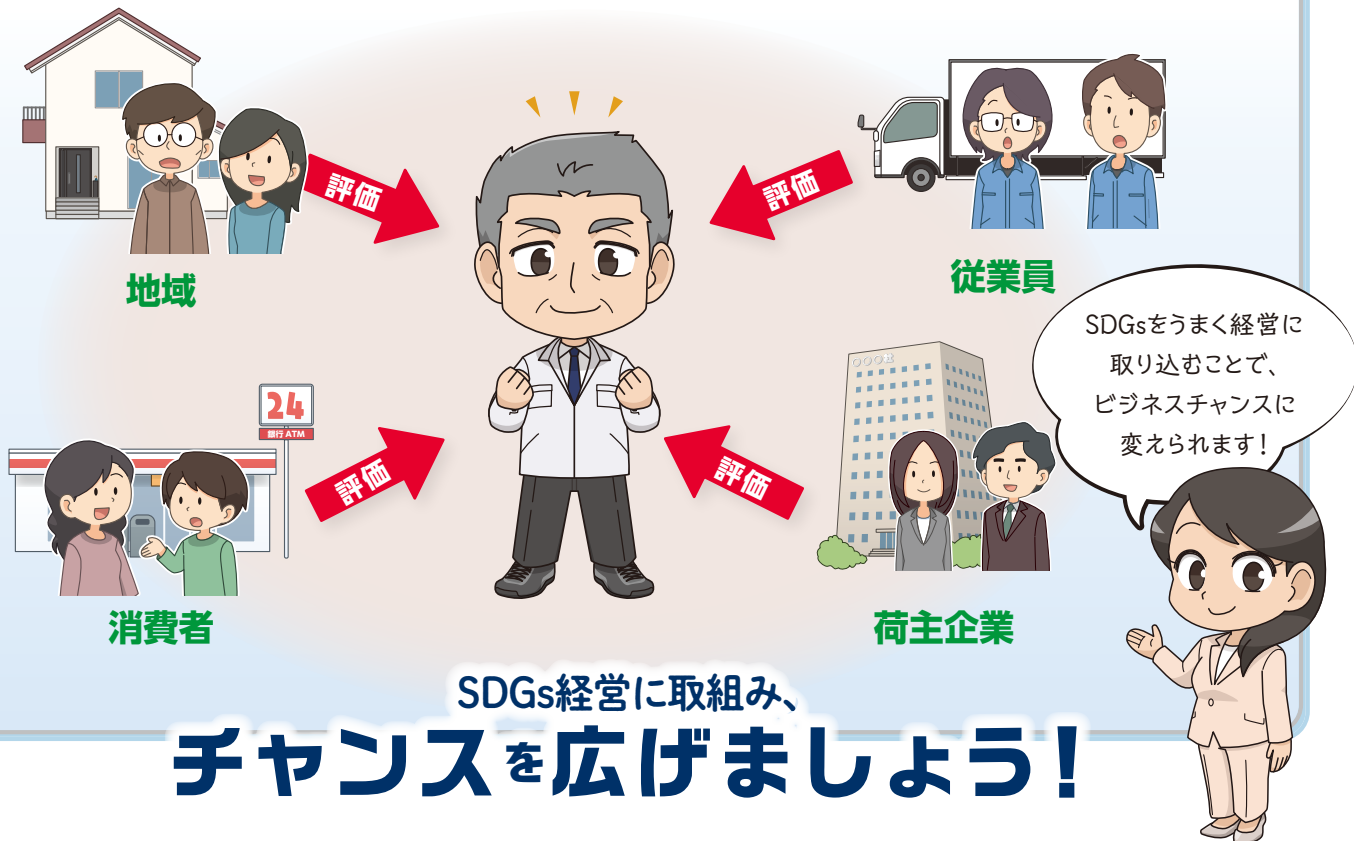
<参考>

「持続可能な開発のための2030アジェンダ(P.2参照)」のタイトルは、「我々の世界を**変革**する」です。

現状のやり方では世界を持続可能なものにできないため、**変革**の必要性を説いています。

## SDGs が企業評価につながる時代が迫っています!

これから社会・経済活動の中心となっていく世代は、SDGsに高い価値観を持つ「SDGsネイティブ」といわれています。彼らからの評価を得ることは、御社の将来にわたる持続的な成長のための近道となります!



## SDGs経営に取り組み、 チャンスを広げましょう!

SDGs経営とは、SDGsを経営と結びつけることで、事業を通じて環境・社会・経済の課題解決に取り組み、

## 企業価値の向上につなげていく経営です

経営理念

経営方針



事業計画

事業活動

← P.11~15も参考にしてください

チャンス

「選ばれる運送事業者」へ!

事業機会の創出・拡大

運送事業者がビジネスを通じSDGsに取り組むことは、企業の存続基盤を強固にするとともに、いまだ開拓できていない取引先を獲得するための大きな「機会」となり得ます。

人財・パートナーの確保

← P.1も参考にしてください

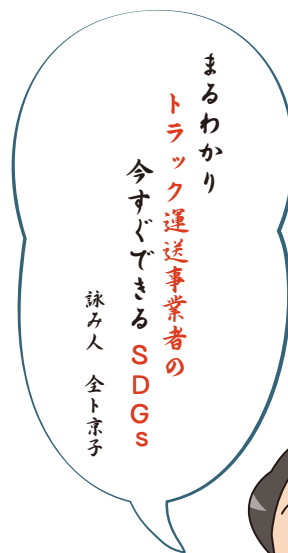
SDGsに取り組まないことが、リスクに!



公益社団法人

全日本トラック協会

〒160-0004 東京都新宿区四谷三丁目2番地5  
全日本トラック総合会館 TEL 03 (3354) 1009(代)  
ホームページ <https://jta.or.jp>



まるわかり

トラック運送事業者の

今すぐできるSDGs

詠み人 全ト京子



古紙パルプ配合率60%再生紙を使用